

(様式2(1))

事業所名 グループホームさくら伊伝居

作成日: 令和 3 年 5 月 21 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が難しい状況ではあるが、自治会や地域の方と何かあった時に互いに助け合える協力関係作りの構築が大切なため、地域の方と連絡を密に取って代案を検討していく。	「地域密着型」という在り方を地域の方に知っていただき、助け合える関係づくりを目指す。	・定期的に会議を行えるよう、工夫し提案する。(リモート会議、テレビ通話、屋外での会議、など自分たちの地域で可能な会議手段を検討する) ・現段階においては、資料作成を行い報告をしっかりと行う。	6ヶ月
2	7	高齢者虐待防止法に関する理解や虐待を発見した場合の対応方法の取り決めに周知徹底が出来よう、研修を受けられなかった職員へのフォローアップや研修参加の記録の保持体制作りに期待したい。	高齢者虐待の内容を深掘りした研修を開き、「虐待はダメ!」ではなく、虐待の根本的な原因やおこりうる状況を想定し、想像し、考える機会を定期的に持つ。そして、常日ごろから問題定義を行い、業務に当たる環境を作りたい。	・定期的に虐待について施設内研修を行い、考える機会を持つ。 ・定期的な職員面談を行い、ストレスチェックや労働環境の改善に繋げる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。